

■ やすらぎの塔開眼式・合同合祀慰霊祭

去る五月十二日、善光寺住職導師の下、「やすらぎの塔」開眼式と合同合祀慰霊祭が執り行われました。

合同合祀慰霊祭では、やすらぎの碑より安置期間の経過した御霊をやすらぎの塔へ埋葬致しました。縁故者や関係の方約二十名の参列の中、一時間半にわたりねんごろなるご供養が営まれました。



住職による開眼





■豊川稲荷と伊勢神宮 参 拝

平成二十六年四月十六日・十七日

恒例の善光寺旅行会、今回は豊川稲荷（愛知県豊川市）と伊勢神宮（三重県伊勢市）を参拝致しました。住職を初め参加者・総勢三十五名、バス一台。

一日目、「日本三大稲荷」の一つとして有名な豊川稲荷を参詣。

豊川稲荷は、正式には「えんかくせん円福山とよかわく豊川閣みょう妙ごんじ厳寺」と称する曹洞宗寺院で、鎮守のだきにしん吒枳尼真天のお姿が狐に似ているところから、豊川のお稲荷さんいねがらさんと呼ばれ、商売繁盛など大変ご利益があるということです。

入母屋造りの総門をくぐると、そこには壮大で厳かな境内堂宇があり、一同足を止めて感嘆



しました。

受処入口右側には日本で現役最古といわれる
真っ赤な郵便ポストもありました。

手入れの行き届いた日本庭園の見える離れで
お茶のご接待を受け、案内された本堂では、多
くの僧侶による読経ご祈祷を頂戴し、堂内を参
観参拝させて頂きました。

お昼は岡崎市内で本場の味噌煮込みうどんに
舌鼓。有名な味噌蔵を拝見できなかったのが残
念でした。

宿泊は鳥羽温泉のホテル。

二日目、早朝よりホテルからほど近い二見ヶ
浦を散策し、その後、伊勢神宮へ。



昨年式年遷宮が行われた伊勢神宮。

のんびりと森林浴気分になりながら、豊受大神宮（外宮）を参詣。そして五十鈴川の清涼なせせらぎで身を清め、天照大御神のおわします内宮をお参りさせて頂きました。

ガイドさんに色々とお紹介いただいた中で、特に印象に残ったのは「なにごとのおわすものかはしらねども かたじけなさに涙ながる」という神宮を訪れた西行法師の詩があるということです。苑全体の静かな雰囲気になんとなく納得させられたのでした。

「おかげ横丁」でお昼を頂き、一路帰路に。

おかげさまで、両日とも好天に恵まれ、穏やかな陽光のもと、和やかな、たいへんありがたい、そして楽しい参拝旅行でありました。





■善光寺講座 『論語からのお話』

東郷先生の論語講座。二年目に入り益々意気盛ん。日常茶飯事、いまの問題や課題について明解に「道」を通じてお示し下さる先生の情熱に引かれるように受講者も回を追うごとにさらに増加しています。

「子曰く、憤せざれば啓せず、悻せざれば発せず。一隅を挙げて三隅を以て反せざれば、則ち復びせざるなり。」

受講者もお互いに毎日の生活の中に活かせる教えを自己の啓発につとめ吸収します。賑々しい会です。

老いも若きも幼きも、そして現役ビジネスマンもウーマンも生き方、考え方の視点を変えてみてはいかがでしょう。

どうぞお越し下さい。お待ちしております。